防　水

■防水の立上がり ①

処置

露出した鉄筋の表面をモルタルなどで補償し、錆びが発生しないように処理しておく。

内容

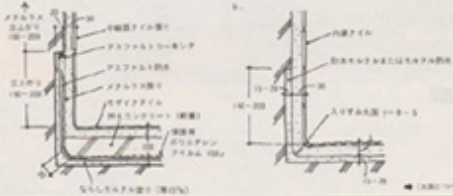
断面、折面などの端に防水をする場合には防水を立上げるが、一般には壁に欠込みをつけなければならない。

コンクリートを打込む時に、欠込みを忘れたため、縦って欠込みを設けた。壁筋、柱筋が露出してしまった。将来、鉄筋の錆び発生の原因になる。

設計

防水をする場合、必ず壁に立上がりを設けなければならない。この場合、柱、壁の構造部材の断面欠損による影響があるときには、あらかじめ欠込み部を埋打ちしておきたい。

防水立上がりの欠込み詳細例



MEMO